



性のあり方は人それぞれ

顔や性格・価値観が人によって異なるように、性のあり方も一人ひとり違います。誰もがありのままの自分でいられる社会にするため、多様な性についての理解を深めましょう。

多様な性とは

世の中には「男性」と「女性」、2つの性別しかないと言われてきました。しかし、「身体の性」と「心の性」が一致しない人や、自分の性を決められない人・わからない人がいます。また、好きになる性も誰かが同じとは限らず、恋愛感情を抱かない人もいます。性のあり方は人それぞれであり、一人ひとりの尊厳に関わる大切なことです。

性について理解を深めよう

何気ない言動が誰かを傷つけていませんか。性のあり方を否定するような言動には「よくなこと」と指摘する勇気が必要です。性の悩みを打ち明けられたときは、しっかりと話を聞き、了解なく他人に話さないようにしましょう。そして、「困った時は支えるよ」と、「一人ではない」ということを伝えてあげてください。

「LGBT」という言葉を聞いたことがありますか？

- L** …レズビアン
心の性が女性で恋愛対象も女性
- G** …ゲイ
心の性が男性で恋愛対象も男性
- B** …バイセクシュアル
恋愛対象が女性にも男性にも向いている
- T** …トランスジェンダー
「身体の性」は男性でも「心の性」は女性というように、「身体の性」と「心の性」が一致しないため「身体の性」に違和感を持つ人

※LGBT以外にも、男女どちらにも恋愛感情を抱かない人や、自分自身の性を決められない・わからない人など、様々な人々がいます。

(法務省人権擁護局「LGBT」ホームページから抜粋)



性自認(心の性)
〈ジェンダー・アイデンティティ〉

生物学的な性(身体の性)
〈セックス〉

性的指向(好きになる性)
〈セクシュアル・オリエンテーション〉

11月25日～
12月1日は

犯罪被害者週間です

■滋賀県犯罪被害者総合窓口(公益社団法人おうみ犯罪被害者支援センター)

TEL・FAX **077-525-8103**

相談時間：月～金 午前10時～午後4時(土・日・祝・年末年始を除く)

■性犯罪・性暴力被害相談 SATOCO24時間緊急ホットライン

TEL **090-2599-3105**

メール：satoco3105biwako@gmail.com



11月は児童虐待防止推進月間です!

県では11月を中心にオレンジリボンキャンペーンを実施しています。児童虐待をなくすため、オレンジリボンを通して虐待防止への思いを込めましょう。

子どもの希望にあふれた明るい未来を守るのは、私たちの役目です。



子どものSOSを「189(いちはやく)」キャッチ!!

あなたの身近にあるかもしれない「たすけてサイン」を見逃さず、虐待かもと思ったら「189」へお電話ください。(匿名でもかまいません)

【問】県庁子ども・青少年局【TEL】077-528-3556【FAX】077-528-4854

多様な性が尊重される社会へ向けて ただいま進行中！

滋賀県では、県に提出していただく申請書等を見直し、255の申請書等のうち196について性別欄を廃止または自由記述に変更することとしました。ここでは、県内の大学や企業の先進的な取り組みを紹介します。

ケース① 龍谷大学

悩みを抱えた人がいることを知る、それが第一歩

数年前、学内アンケートをした結果、性のあり方で悩んでいる学生や教職員がいること、学内での理解が十分ではないことがわかりました。そのため、平成29年に「性のあり方の多様性に関する基本指針」を定めました。

まず、学生と教職員を対象に性の多様性についての講演会や研修会を開きました。性別にかかわらず使え

「だれでもトイレ」を整備し、名簿や証明書への性別の記載をやめ、当事者である卒業生の体験談集も作りました。悩んでいる学生が気軽に参加できるカフェも開催しています。

まだまだ課題はありますが、相談しやすい雰囲気づくりを心がけ、気付いたことから変えていくことで、誰もが安心できるキャンパスにしたいと考えています。

ケース② ひこね繊維協同組合

本心に悩んでいる人たちに寄り添っていききたい

彦根の地場産業である女性下着の製造ノウハウを活かして、新たにトランスジェンダー向けの下着を作り、今年8月から販売を開始しました。

開発にあたっては、身体の性に違和感があつて悩みを抱えている方の意見を聞きました。一人ひとり違う悩みにできる限り対応でき

るように試作を繰り返して、締めつけ過ぎて苦しくならない、つけ心地の良さを実現しました。

心の性に合った下着を身につけることで、悩みを抱えている方の心が少しでも落ち着き、楽になってほしい。

これからも当事者の気持ちに寄り添いながら、製品を開発していきたいです。

卒業生の体験談集「大学生のためのLGBTQサバイバルブック」

多目的トイレを、性別にかかわらず使える「だれでもトイレ」と表示



胸のふくらみが目立たないように胸以外の箇所にパッドを足すなど工夫。ショーツも開発されている。



ひこね繊維協同組合 理事長 宮脇 國雄さん



事務局長 野村 和行さん



龍谷大学 宗教部 課長 安食 真城さん

12月4日～10日は人権週間です

みんなで築こう 人権の世紀

～考えよう 相手の気持ち 未来へつなげよう 違いを認め合おう～



■人権相談を希望される方は、下記までお電話ください。

全国共通人権相談ダイヤル TEL.0570-003-110

※最寄りの法務局につながります。

■滋賀県人権啓発活動ネットワーク協議会ホームページでも人権相談窓口を紹介しています。

【問】県庁人権施策推進課 TEL 077-528-3533



2019年人権週間協賛

参加無料 人権尊重と 部落解放をめざす 県民のつどい

日時 12/8(日) 10:00～15:00

場所 滋賀県立文化産業交流会館(米原市下多良二丁目137)

- ・記念講演「出張！ゴルゴ塾 命の授業」 ※託児・手話通訳・要約筆記あり
ゴルゴ松本さん(お笑い芸人)
- ・意見発表「差別や偏見は無知から始まる」
中村 燎さん(滋賀大学教育学部附属中学校)
- ・人権ラブソングコンサート「和太鼓」
びわこ学院大学和太鼓部-雷音-
- ・地域からの発信「豊郷町隣保館の取り組み」ほか



ゴルゴ松本さん

【問】(公財)滋賀県人権センター TEL 077-522-8243 FAX 077-522-8289